

2025 年 5 月 29 日

原料費調整制度に基づく 2025 年 7 月のガス料金について

静岡ガス株式会社（代表取締役 社長執行役員 松本尚武）は、原料費調整制度<sup>※1</sup>に基づき、2025 年 7 月検針分のガス料金の従量料金単価を、2025 年 6 月検針分に比べ、1m<sup>3</sup> あたり▲3.61 円（税込）調整いたします。これは、今回 2025 年 2 月～2025 年 4 月における LNG およびプロパンの価格（貿易統計）に基づいて算定される平均原料価格が、前回（2025 年 1 月～2025 年 3 月）に比べ下がった（▲4,020 円/トン）ためです。

これにより、標準家庭<sup>※2</sup>1 カ月あたりのガス料金は、2025 年 6 月検針分に比べ 90 円（税込）の値下げとなります。

1. 2025 年 7 月検針分のガス料金
- (1) 料金表（一般ガス供給約款：45MJ）

| 料金表 | 1カ月のご使用量                                   | 基本料金       | 従量料金単価   | (参考)<br>2025年6月の<br>従量料金単価 |
|-----|--------------------------------------------|------------|----------|----------------------------|
| A   | 0m <sup>3</sup> から 10m <sup>3</sup> まで     | 858.00 円   | 240.69 円 | 244.30 円                   |
| B   | 10m <sup>3</sup> をこえて 25m <sup>3</sup> まで  | 902.00 円   | 236.29 円 | 239.90 円                   |
| C   | 25m <sup>3</sup> をこえて 60m <sup>3</sup> まで  | 1,430.00 円 | 215.18 円 | 218.79 円                   |
| D   | 60m <sup>3</sup> をこえて 150m <sup>3</sup> まで | 1,551.00 円 | 213.15 円 | 216.76 円                   |
| E   | 150m <sup>3</sup> をこえるもの                   | 1,741.15 円 | 211.88 円 | 215.49 円                   |

- (2) 標準家庭の 1 カ月あたりガス料金

|            | 2025年7月 | 2025年6月 | 増減    |
|------------|---------|---------|-------|
| 1カ月あたりガス料金 | 6,809 円 | 6,899 円 | ▲90 円 |

## 2. 原料費調整制度による変動額

### (1) 貿易統計による原料価格および平均原料価格

|               | 2025年2月～<br>2025年4月 | 2025年1月～<br>2025年3月 | 増減       |
|---------------|---------------------|---------------------|----------|
| トンあたりLNG平均価格  | 91,450 円            | 95,620 円            |          |
| トンあたりプロパン平均価格 | 95,080 円            | 96,480 円            |          |
| 平均原料価格        | 92,200 円            | 96,220 円            | ▲4,020 円 |

### (2) 調整額

|     | 2025年7月 | 2025年6月 | 増減      |
|-----|---------|---------|---------|
| 調整額 | 8.20 円  | 11.81 円 | ▲3.61 円 |

## 3. 変動額の計算式

### (1) 平均原料価格

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{トンあたり LNG 平均価格} \times 0.9424 + \text{トンあたりプロパン平均価格} \times 0.0633 \\
 &= 91,450 \times 0.9424 + 95,080 \times 0.0633 \\
 &= 92,200 \quad (\text{算定結果の 10 円未満の端数は四捨五入})
 \end{aligned}$$

### (2) 原料価格変動額

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格}^{\ast 3} \\
 &= 92,200 - 83,090 \\
 &= 9,100 \quad (\text{算定結果の 100 円未満の端数は切り捨て})
 \end{aligned}$$

### (3) 調整額

$$\begin{aligned}
 \text{調整額} &= \text{原料価格変動額} \times 0.082 \div 100 \times (1 + \text{消費税率}) \\
 &= 9,100 \times 0.082 \div 100 \times 1.10 \\
 &= 8.20 \quad (\text{算定結果の小数 3 位以下の端数は切り捨て})
 \end{aligned}$$

※1 原料費調整制度とは、経済情勢の変化を迅速に反映した料金とするため、原料費の変動に応じ毎月料金を見直す制度です。

※2 標準家庭での使用量は、25m<sup>3</sup> / 月（2017 年～2021 年の 5 年間の家庭用平均使用量）として算定しています。

※3 基準平均原料価格は 2015 年 1 月～3 月を算定期間とし、83,090 円としています。

以上